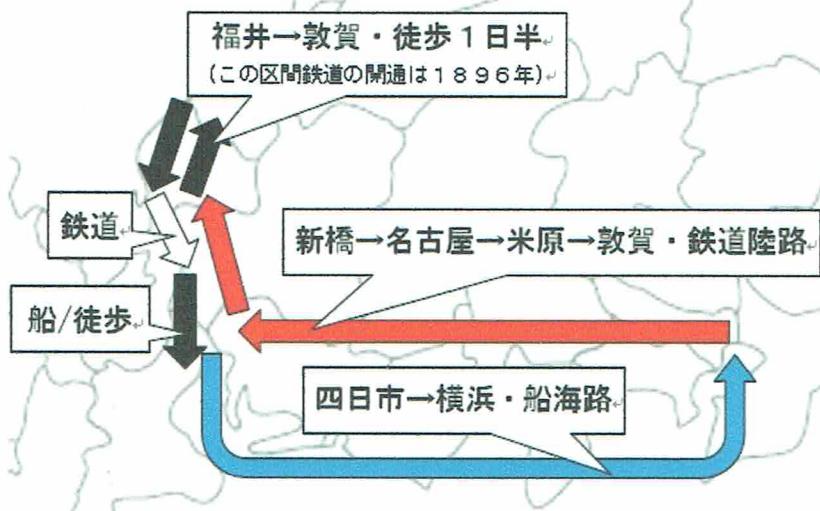


福井尋常中学校 東京への修学旅行

明治23年(1890)4月7日~20日

内国博覧会参観・帝国大学訪問・松平春嶽面会



福井初? 修学旅行

帝国大学初代総長 十六代福井藩主



日付	場所	時刻	手段
4月7日	福井中学校	午前 6:40	徒歩
	今庄	午後 16:00	徒歩
	金ヶ崎(敦賀)	午後 5:30	徒歩
4月8日	新橋	午後 11:00	
	米原	午後 14:30	鉄道
	大垣	午後 15:22	
	桑名	午後 16:22	船
4月9日	四日市	午後 19:45	船
	横浜	午後 4:00	
	新橋(東京)	午後 7:30	徒歩
4月10日	上野	午後 11:20	船
	新橋(東京)	午後 18:20	船
	上野	午後 19:25	鉄道
	上野	午後 21:30	鉄道馬車
4月11日	自由行動		
4月12日	第3回国博覧会		
4月13日	農業		
4月14日	農業見習		
4月15日	帝國大學工科大学		
4月16日	高等商業学校 (現一橋大学)		
4月17日	自由行動		
4月18日	宿舎 新橋	午前 4:00	徒歩
4月19日	名古屋	午前 6:10	鉄道
	米原	午前 18:10	
	金ヶ崎(敦賀)	午前 5:00	鉄道
	大良(南越前町)	午前 7:45	
4月20日	福井中学校	午前 8:20	鉄道
		午前 10:30	
		午前 17:50	徒歩
		午前 6:00	
		午前 8:00	徒歩
		午前 16:40	

四月十四日、生徒を前にした洪基は、福井県人の代表者として学業・実業に励んで欲しい、郷土の人々の事業・学業を応援し、帝国大学に多数

は、県内で最初の修学旅行として、まだ福井まで鉄道が開通していなかったので敦賀まで横浜経由で四日間かけて上京しました。内国勧業博覽会を見学した後、当時帝国大学初代総長であった渡辺洪基に大学の植物園で面会しました。

渡辺洪基と面会・激励



渡辺洪基

の福井県人が入学することを希望している、と激励しています。

(略) 希くは諸君が学業の将来を代表するものなり。

(略) 宜しく其の県内の実況を知り、又帝国内各地の情態を詳かにし、並せて海外各国の状況を詳かにし其長所を助け、短所を補ひ県内に於て身を致すの地なんんば他府県に

行くべし、帝国内に於て力を尽くすべき地なくんば去りて外国に至りて福利を求むべし。

(略) 希くは諸君が学業益々進み、或いは学業に、実業に多く他郷に興り、又余が榮誉として奉職する帝國大学各分科の学生中に多く福井県人の名を見んことを翫望して止まざるなり。勤哉諸君。



松平慶永(春嶽)に面会



展示室B「ゆかりの教育者」

四月十六日、この年六月になると慶永は、病をおして面会し激励の言葉を述べ、中学会を感激させました。